

諏訪内晶子 室内楽プロジェクト

Akiko Plays CLASSIC & MODERN with Friends
[2/15] [2/16]

鮮やかなコントラストで魅せる
音楽の諸相



鈴木康浩
(ヴァイオリン)



© Jean-Baptiste Millot

テディ・パパヴラミ
(ヴァイオリン)



© TAKAKI KUMADA

諏訪内晶子
(ヴァイオリン)



アンリ・ドゥマルケット
(チェロ)



© HIDEKI NISHIMAI

阪田知樹
(ピアノ)

<Akiko Plays CLASSIC with Friends>

2021年2月15日(月) 19:00開演 18:30開場
7:00 p.m., Monday, February, 15 at Kioi Hall

J.S. バッハ：「シャコンヌ」

～無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 ニ短調 BWV1004 より
J.S. Bach: "Chaconne" from Violin Partita No. 2 in D minor, BWV1004

ブラームス：ピアノ三重奏曲第3番 Op.101
Brahms: Piano Trio No. 3 Op. 101

ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲第2番 Op.81
Dvorak: Piano Quintet No. 2 Op.81

<Akiko Plays MODERN with Friends>

2月16日(火) 19:00開演 18:30開場
7:00 p.m., Tuesday, February 16 at Kioi Hall

スティーヴ・ライヒ：ヴァイオリン・フェイズ<1967>
Steve Reich: Violin Phase <1967>

川上 統：組曲「甲殻」より<2005-2019> *新作「オトヒメエビ」(世界初演)
Osamu Kawakami: Excerpts from Suite "Carapace" <2005-2019>

マーク=アンドレ・ダルバヴィ：ピアノ三重奏曲<2008>
Marc-Andre Dalbavie: Piano Trio <2008>

レオ・オーンスタイン：ピアノ五重奏曲 Op.92 <1927>
Leo Ornstein: Piano Quintet Op. 92 <1927>



有馬純寿
(エレクトロニクス)

紀尾井ホール

四ッ谷駅・麴町口徒歩6分 / 麴町駅・徒歩8分 / 赤坂見附駅・D出口徒歩8分 / 永田町駅7番出口・徒歩8分

[2公演セット券] S¥12,000 A¥8,500 各日(単券) S¥8,000 A¥5,500 ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金
[2公演セット券] S¥11,000 A¥7,700 各日(単券) S¥7,200 A¥5,000

※料金には消費税が含まれています。 ※特別割引料金については裏面をご覧ください。
※2公演セット券はジャパン・アーツびあホールセンターのみの受付です。

一般発売日 12月5日(土)

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員 WEB: 11月28日(土) 同 TEL: 11月29日(日)
ジャパン・アーツびあネット会員: 12月3日(木)

お申込み ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/ 紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061 www.kioi-hall.or.jp/
チケットびあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード: 189-654] イープラス eplus.jp ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 34948]

主催: ジャパン・アーツ/日本経済新聞社

後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

協力: ユニバーサル ミュージック



特別協賛:



豊田自動織機

TOYOTA



豊田通商

AISIN

2020年2月、国際音楽祭NIPPON2020が開幕し、東京と名古屋で満場のお客様にお集まり頂きました直後、新型コロナウイルスの感染拡大により、瞬間に世界の日常が大きく変わりました。

音楽界をとりまく状況は残念ながら一変してしまいましたが、“音楽がある日常”を強く願い、そして今できることを一つずつ形にしていきたいと思っております。思いを共にする素晴らしい仲間たちと一緒に、2020年3月に予定されていたプログラムの一部を2021年2月に改めてお届けいたします。そして、今回はオンライン配信による演奏もお楽しみいただけるように準備を進めております。

皆様の前で演奏できる日を、待ち遠しく思います。穏やかで安心に満ちた生活が一日も早く戻ることを祈りつつ、またお目にかかれる日を楽しみにしております。

諏訪内晶子

成熟と遭遇の奇蹟へ

コロナ禍によって、1年間の延期を余儀なくされた国際音楽祭NIPPONがついに帰ってくる。

あらたな音楽祭のラインナップの中でも、「アキコ・プレイズ・クラシック」「アキコ・プレイズ・モダン」の2夜は、輝かしいキャリアを持つ諏訪内晶子の新しい一歩として重要な意味を持っていよう。

第一夜は「アキコ・プレイズ・クラシック」。一見すると普通？いや、これまでの諏訪内のディスコグラフィに純然たる室内楽は存在しない。もちろん様々な経験を積んできたとはいえ、基本的には独奏者である彼女が、手練れたちをどのようにリードするのか／できるのか。しかもその舞台として選ばれたのはブラームスのピアノ三重奏第3番とドヴォルザークのピアノ五重奏第2番という難曲。

ブラームス作品、第1楽章で変ホ長調に転じた部分の跳ねるようなユニゾン・リズムをどのように処理するのか、あるいはドヴォルザーク作品の

第2楽章「ドゥムカ」冒頭で、ヴィオラの密やかな旋律に対してどんなテヌートで合いの手を入れるのか。あらゆる箇所が、この演奏家の真の成熟をはかる試金石となるだろう。

さらに衝撃的なのが第2夜「アキコ・プレイズ・モダン」。諏訪内はこれまで積極的に20世紀作品を取り上げてはきたが、しかし、それらは総じて後期ロマン派の流れをくむ壮麗な音楽だった。しかしこの夜、彼女は時にみずばらしく、時にささくれだった（モダン）と初めて遭遇する。自らの多重録音によるライヒの「ヴァイオリン・フェイズ」を皮切りにして、問題児レオ・オースタインの奇想がちりばめられた五重奏へと続くプログラム構成は、この演奏家の真のキャパシティをはかる試金石となるだろう。

また、この夜には現在もっとも注目される日本の作曲家、川上統による奇作「甲殻」が、諏訪内のために用意された世界初演奏を含む新構成で演奏される。リアルタイムの日本との遭遇までもが用意されているというわけだ。この奇蹟を我々はなんとしても目撃しなければならない。

沼野雄司（音楽学）



© Kiyotaka Saito

諏訪内晶子（ヴァイオリン／国際音楽祭NIPPON2020芸術監督）
Akiko Suwanai,
Violin / Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2020

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2012年、2015年、エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門及び2019年チャイコフスキー国際コンクール審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。デッカより14枚のCDをリリース。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロムビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。

使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のガールネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。



© Jean-Baptiste Millot

テディ・パパヴラミ
（ヴァイオリン）
Tedi Papavrami, Violin

5歳で教育者として優秀な父から初めて手ほどきを受け急速に上達。3年後、ティラナ・フィルハーモニー管弦楽団との共演でサラサーテ《ツィゴイネルワイゼン》を演奏。1990年代ソロと室内楽の輝かしいキャリアを開始。2014年イザイの《6つの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ》をリリースし《2つのヴァイオリンのためのソナタ》をスヴェトリン・ルセフとの共演で収録。現在、ジュネーヴ州立高等音楽院教授。使用楽器はChristian Bayonがパパヴラミのために製作。



© Kiyotaka Saito

鈴木康浩（ヴィオラ）
Yasuhiro Suzuki,
Viola

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。5歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。卒業後ヴィオラに転向。第7回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位ほか受賞多数。2001年よりドイツのカラヤン・アカデミーで研鑽を積み、ベルリン・フィルの契約団員となる。またサイトウ・キネン・フェスティバル、宮崎国際音楽祭など多方面で活躍を続けている。



© Kiyotaka Saito

アンリ・ドゥマルケット
（チェロ）
Henri Demarquette,
Cello

1970年パリ生まれ。13歳でパリ国立高等音楽院に入学し、ジャン・ドロン、フルニエ、トルトゥリエに師事。アメリカではシュタルケルに学ぶ。17歳の時にシヤトレ座でリサイタル・デビュー。ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールなど数々の入賞歴を持ち、現代音楽にも造詣が深い。ニュアンス豊かな表現力が魅力で、エンゲラーとの仏音楽アルバムなどCD録音も多数。エコール・ノルマル音楽院教授。使用楽器は「Goffredo Cappa」、使用弓は1820年製の「Persois」。



© HIDEKI NAMAI

阪田知樹（ピアノ）
Tomoki Sakata, Piano

2016年フランツ・リスト国際ピアノコンクール（ハンガリー・ブダペスト）第1位、6つの特別賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール最年少入賞。

ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリエヴァンド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンジャー国際ピアノオリンピック第1位及び聴衆賞。東京藝術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学ソリスト課程ピアノ科に在籍。コモ湖国際ピアノアカデミーでも研鑽を積み、2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。



© Kiyotaka Saito

有馬純寿（エレクトロニクス） <2月16日(火)のみ>
Sumihisa Arima, Electronics

エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開。第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞芸術振興部門、第13回佐治三賞を受賞。現在、帝塚山学院大学人間科学部准教授。京都市立芸術大学非常勤講師。

【国際音楽祭NIPPON 2020 その他の公演スケジュール】

- 2/13(土) 13:00 釜石市民ホール TETTO ▲
(問)釜石市民ホール TETTO 0193-22-2266
- 2/14(日) 13:00 徳川美術館 講堂 ☆
(問)クラシック名古屋 052-678-5310
- 2/14(日) 19:00 トヨタ産業技術記念館 ★
(問)クラシック名古屋 052-678-5310

▲：東日本大震災復興応援コンサート in 釜石〜諏訪内晶子 & フレンズ〜
☆：ミュージアム・コンサートI ☆：ミュージアム・コンサートII

Twitterでフォローする
@japan_arts

《特別割引チケット》

<WEBジャパン・アーツびあ及びジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付>

◎学生席（各ランクの半額） 残券がある場合2021年1月15日(金)より受付を開始します。社会人を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。（学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。）学生席はジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も一般価格の半額です。

◎シニア割引 65歳以上の方は会員料金でお求めいただけます。

◎車椅子の方は本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。（ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付）

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ>

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お問い合わせいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
- ②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ③演奏中は入場できません。
- ④未就学児の同伴はご遠慮下さい。
- ⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑧他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただきます。